

# 令和7年度地震・津波防災訓練 (千葉県木更津市・内閣府)

## 実施報告書 (概要版)

### 千葉県木更津市について

- 千葉県木更津市は、首都圏から50km圏内にあり、西は東京湾に臨み、東は市原市、北は袖ヶ浦市、南は君津市に隣接。人口は令和8年2月時点で136,685人である。
- 南房総・東京湾岸に位置する暖かなまちであり、東京湾アクアラインのたもとには盤洲干潟が広がり内陸部には万葉集にも登場する緑豊かな上総丘陵が存在。「都心から一番近い田舎」をキャッチフレーズとし、豊かな自然環境と都心へのアクセス性が魅力とされる。
- 防災ビジョンの目標として、①災害に強い住民・職員になる、②災害に備えるしくみをつくる、③災害に強いまちをつくるを掲げている。

### 主な被害想定

- 震度は、概ね、低地で6強、丘陵地で6弱と予測されており、液状化危険度は、概ね、低地で「危険度が高い」、「危険度がやや高い」と予測されている。



## 訓練概要

- 訓練想定：東京湾北部沖を震源とするM7.3の地震が発生、木更津市内で震度6強を観測。地盤が軟弱な地域を中心に液状化、家屋の倒壊等が発生。地震発生10分後に津波警報発表、地震発生40分後沿岸部に高さ1mの津波が到達。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年10月19日（日）13:30～16:30  
【地震・津波防災訓練】令和7年11月23日（日）09:00～11:00  
【訓練実施後WS】 令和7年11月23日（日）11:00～12:00
- 主催：千葉県、木更津市
- アドバイザー：宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 近藤伸也准教授
- 参加者数：3,552名
- 参加機関：木更津警察署、木更津消防本部等
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、訓練実施前・後ワークショップ、避難所設置・運営訓練、災害対策本部運営訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練、物資配給訓練、炊き出し訓練、ボランティアセンター立ち上げ訓練、防災講話
- 訓練の特色：金田地区を主会場としつつ、市内全域で訓練を実施し、訓練内容も多岐にわたった。  
訓練実施前ワークショップで避難先での生活、必要物資の種類や量、適切な避難先について参加者間で協議し、必要な備えを促した。  
訓練に加え、訓練実施前・後のワークショップに小中学生の参加を促した。

## 訓練の成果

### 【成果】

- 訓練実施前ワークショップで多様なメンバーでのグループワークを実施したことで、住民の防災意識向上において十分な成果を出すことができた。  
また、訓練及び訓練実施後ワークショップで振り返り、今後の取組についてさらに話し合うことでより具体化できた。
- 訓練全体としては円滑に運営されていた。一部の会場では消防車の展示や消火体験などで市民参加を促した。
- 小中学生の参加により幅広い世代が防災について考える契機となった。

### 【課題】

- 避難場所の場所が適しているのか改めて検討する必要があるとあり、地震・津波から避難するに当たり最適な避難場所・避難所であるかを訓練を通じて確認することとしている。

10月19日(日) 13:30～16:30 訓練実施前ワークショップ

- 「自らの命は自らが守る」という意識を向上させるため、訓練実施前ワークショップを開催した。
- 地域の災害リスクについて、避難先での必要な備えについて意見交換を実施した。

▼近藤アドバイザーによる講演



▼グループワーク



11月23日(日) 9:00～11:00 地震・津波防災訓練

- 木更津市役所駅前庁舎にて災害対策本部運営訓練を実施し、職員の参集から情報収集等の訓練を実施した。
- 木更津市全域において津波避難訓練を実施した。
- 市民の参加を促すため、消防車の展示や消火体験を実施した。

▼災害対策本部事務局の運営を訓練



▼市内の各避難場所へ参集する市民



▼避難所にて配布した防災食の内容



▼オンライン会議システムを通じて市長から各避難所へメッセージを送信



▼市民参加を促すための消火体験



11月23日(日) 11:00～12:00 訓練実施後ワークショップ

- 訓練の振り返り・今後の取り組みについて意見交換をした。
- 時間帯の変化、季節の変化による防災対策について考える機会となった。

▼グループに分かれた振り返り



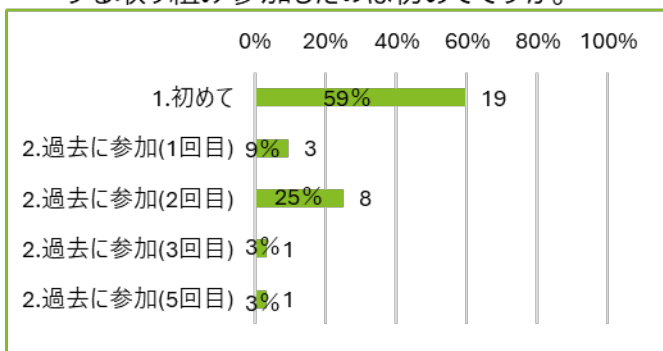
▼各グループからの発表



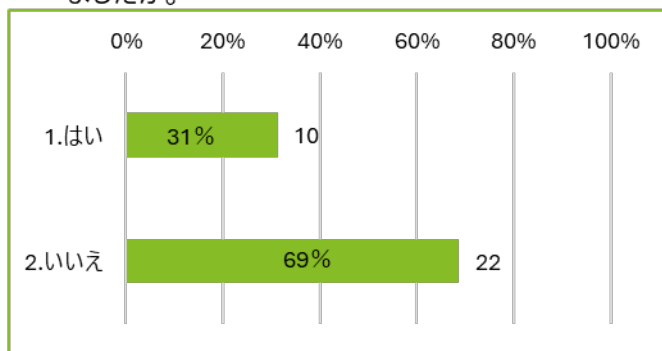
アンケート結果

回答数:32

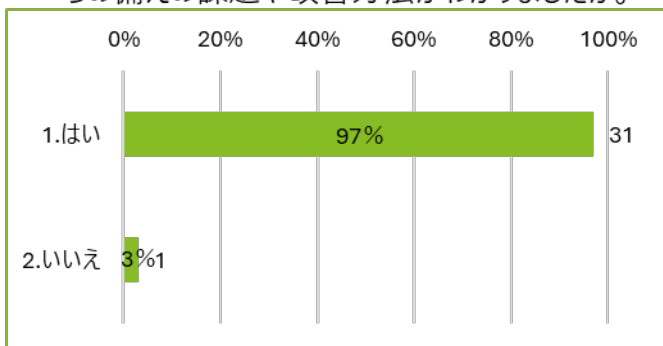
1. 防災訓練やワークショップのような地域防災に関する取り組み参加したのは初めてですか。



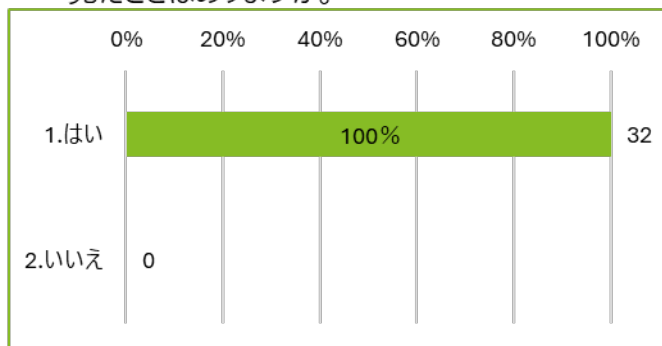
2. 11月5日が「津波防災の日」であることをしていますか。



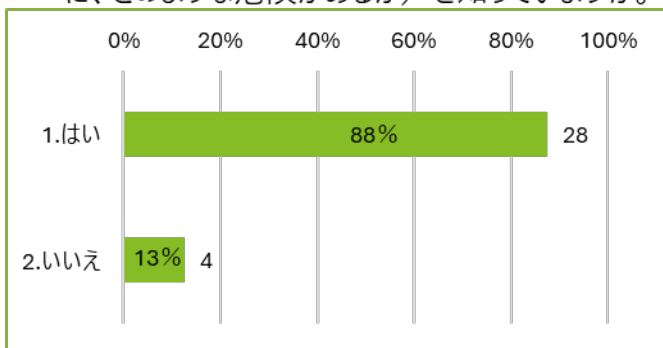
3. 今回のワークショップに参加し、災害に対する自らの備えの課題や改善方法がわかりましたか。



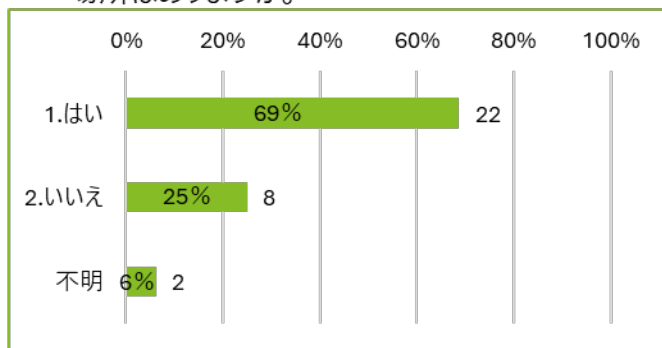
4. 木更津市が作成している「津波ハザードマップ」を見たことはありますか。



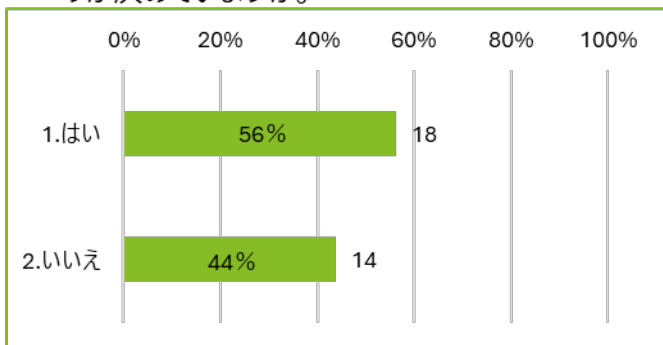
5. 災害のリスク（災害時、お住まいの地域のどこに、どのような危険があるか）を知っていますか。



6. 自宅や職場から避難所への避難経路に危険な場所がありますか。



7. 災害時に家族同士で、どのように連絡を取り合うか決めていますか。



8. 今回のワークショップを通じて、観光客等の避難誘導についてイメージが湧きましたか。

